

山に向かい みんなで呼ぼう みんなの希望を

祝 竜丘小学校開校150周年



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

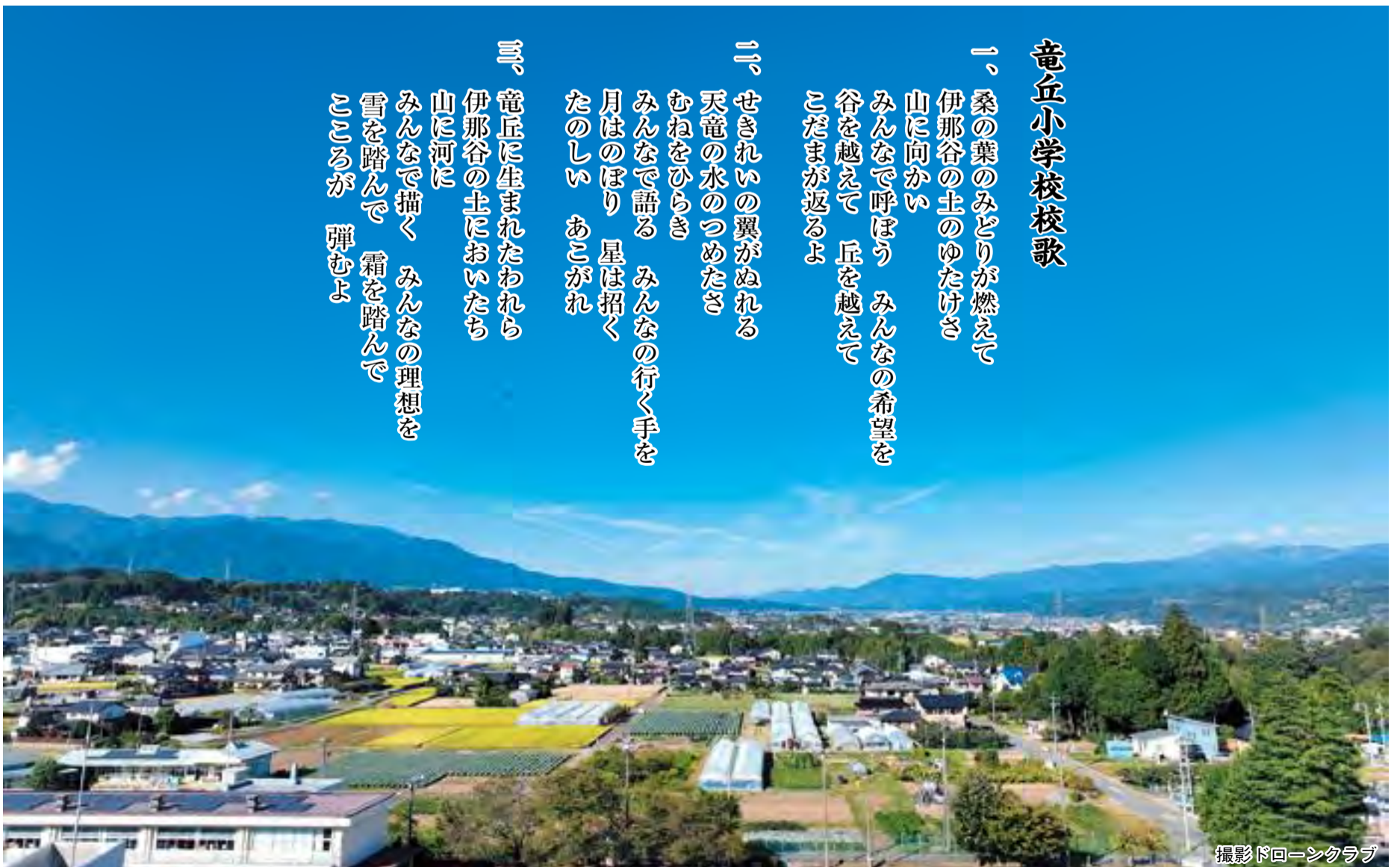
人口 6,606人
男子 3,206人
女子 3,400人
世帯数 2,587戸
(4年11月末現在)



提供 ユニオン・エンタープライズ(株)

竜丘小学校校歌

- 一、桑の葉のみどりが燃えて
伊那谷の土のゆたけさ
山に向かい
みんなで呼ぼう みんなの希望を
谷を越えて 丘を越えて
こだまが返るよ
- 二、せきれいの翼がぬれる
天童の水のつめたさ
むねをひらき
みんなで語る みんなの行く手を
月ほのぼり 星は招く
たのしい あこがれ
- 三、竜丘に生まれたわれら
伊那谷の土においたち
山に河に
みんなで描く みんなの理想を
雪を踏んで 霜を踏んで
ところが 弾むよ



撮影 ドローンクラブ

竜丘小学校150周年記念事業



開校150周年記念
マスケットキャラクター
竜丘ギンパー

150周年記念の自由画教室として飯田市美術博物館より、手塚義尚先生をお招きし、各学年にご指導いただきました。様々な表現を用いて子どもたちが思いを込めた作品です。



6年「わたしのお気に入りの場所」(思い出の校舎)



5年「物語から広がる世界」(銀河鉄道の夜)



4年「絵の具で遊んで自分色紙」



3年「へんてこ山の物語」



2年「ふしぎなたまご」



1年「のってみたいないきたいな」



記念公演として「ミュージッククラウンショー」音楽的道化師「ショー」音楽的ドタバタ喜劇が始まりました。オープニングは、パンジョーとピアノニカ(鍵盤ハーモニカ)、ウォッシュュア、スペインなどの国旗に合わせた様々な曲が、ギャグを交え、ミュージックベルを使って演奏されました。ベルの美しい音色に、スピード感あふれる演奏、ときにはズッコケ、ときには軽やかに、最後のアンコールでは、「ドレミの歌」を演奏して楽しく終演を迎えました。

記念公演として「ミュージッククラウンショー」音楽的道化師「ショー」音楽的ドタバタ喜劇が始まりました。オープニングは、パンジョーとピアノニカ(鍵盤ハーモニカ)、ウォッシュュア、スペインなどの国旗に合わせた様々な曲が、ギャグを交え、ミュージックベルを使って演奏されました。ベルの美しい音色に、スピード感あふれる演奏、ときにはズッコケ、ときには軽やかに、最後のアンコールでは、「ドレミの歌」を演奏して楽しく終演を迎えました。

記念公演 ましゅ&Kei ミュージッククラウンショー

ボードで「聖者の行進」の曲を演奏しながら舞台上を動き回っていました。おもしろおかしい自己紹介とあいさつのお話、ア、アメリカ、イタリア、スペインなどの国旗に合わせた様々な曲が、ギャグを交え、ミュージックベルを使って演奏されました。ベルの美しい音色に、スピード感あふれる演奏、ときにはズッコケ、ときには軽やかに、最後のアンコールでは、「ドレミの歌」を演奏して楽しく終演を迎えました。

その後、鈴の付いた棒でジャグリングしながらハーモニカを演奏、児童一人にタンバリン、もう一人にカウベルで参加してもらい、周りの児童は拍手子で、一緒に盛り上がりました。打楽器で参加してくれた2人の児童には、風船で作った犬と花をそれぞれプレゼントされました。最後のアンコールでは、「ドレミの歌」を演奏して楽しく終演を迎えました。

式典 竜丘小学校の歴史に触れて



十一月五日に、竜丘小学校体育館にて、「竜丘小学校開校百五十周年記念式典」が挙行されました。これを機に私自身でも、竜丘小学校の歴史を自分なりに調べてみました。そこで感じることは、地域との繋がりの深さです。開校当初から、学校行事にご協力いただいたり、困難が生じた際には実行委員会でも中心的な役割を担っていただいたり、自由画保存顕彰委員会の皆様には「木下紫水物語」の作成、また、式典当日には鈴岡太鼓の皆さんの雄大な演奏でオープニングを飾っていただきました。長い歴史を歩みを進めて参りました。今後とも、野原竹宵の会の皆様からは立派な記念の竹灯

竜丘小学校長 山崎 啓

十一月五日に、竜丘小学校体育館にて、「竜丘小学校開校百五十周年記念式典」が挙行されました。これを機に私自身でも、竜丘小学校の歴史を自分なりに調べてみました。そこで感じることは、地域との繋がりの深さです。開校当初から、学校行事にご協力いただいたり、困難が生じた際には実行委員会でも中心的な役割を担っていただいたり、自由画保存顕彰委員会の皆様には「木下紫水物語」の作成、また、式典当日には鈴岡太鼓の皆さんの雄大な演奏でオープニングを飾っていただきました。長い歴史を歩みを進めて参りました。今後とも、野原竹宵の会の皆様からは立派な記念の竹灯



児童会長 長つ あいさつ

記念シンポジウム「自由画教育の精神を後世につなぐ」

午後の記念シンポジウムは、「自由画教育の精神を後世につなぐ」というテーマで四名のシンポジストを迎えて行われました。会場には五十名ほどの参加者が集まり、竜丘の自由画における木下紫水の業績をもとに、竜丘地区の文化まで視点を広げた、専門家の研究や考えに触れることができました。シンポジウムのスタートは飯田市美術博物館の横村学芸員による竜丘小学校で取り組んだ自由画教育についての説明でした。紫水の自由画への関わり、竜丘小学校で第二回の全国児童自由画展覧会を開催する経緯などについて要点的にお話いただきました。続いて、竜丘自由画保存顕彰委員会の

午後、記念シンポジウムは、「自由画教育の精神を後世につなぐ」というテーマで四名のシンポジストを迎えて行われました。会場には五十名ほどの参加者が集まり、竜丘の自由画における木下紫水の業績をもとに、竜丘地区の文化まで視点を広げた、専門家の研究や考えに触れることができました。シンポジウムのスタートは飯田市美術博物館の横村学芸員による竜丘小学校で取り組んだ自由画教育についての説明でした。紫水の自由画への関わり、竜丘小学校で第二回の全国児童自由画展覧会を開催する経緯などについて要点的にお話いただきました。続いて、竜丘自由画保存顕彰委員会の



その後の討論では、美博の手塚専門研究員・顕彰委員会宮嶋幹事長・信州大学大学院山浦特任教授が加わり、テーマに関わってそれぞれの立場からの考えをうかがうことができました。手塚専門員からは、紫水の児童への指導の姿勢・指導方法・当時の画材や絵画技法や現在の竜丘小児童に

飯田歴研賞2022 「木下紫水物語」が著作賞を受賞

竜丘児童自由画保存顕彰委員会は、竜丘小学校に保存されてきた児童の作品は地域の宝と考え、その保存活用と顕彰に努めています。文化祭等での作品展示やレプリカを作成し貸出展示、飯田美術博物館の指導を得て中性紙による原画の劣化防止、小学校校長室前に作品展示スペースを竜丘商工会の寄付金で設置するなど行ってきました。竜丘小学校開校百五十周年記念に当たり、学校から自由画や木下紫水についての説明資料が無いので、「副読本」を作成して欲しいとの要望があり、子ども向けの「木下紫水物語」を作成することとしました。昨年度十数回の委員会を重ね飯田美術博物館・竜丘小学校の協力を得て、今年三月発刊しました。そして昨年度

また、横村学芸員は、最初の話に加えて、今後の紫水の研究課題について、山浦特任教授は著名人と竜丘村との関わりや、紫水物語を道徳教育や総合的な学習の時間との関わりについて語っていただきました。竜丘という地域と、自由画教育との関わりについて深く考えさせられる一時間半でした。



今年度の六年生はじめ関係部署へ贈呈しました。この度、「木下紫水物語」が飯田市歴史研究所の「飯田歴研賞(著作賞)」を受賞しました。歴史研究所の講評では「本書は、竜丘小学校の教師として児童自由画教育に取り組んだ木下紫水(本名茂男)の生涯と、彼の指導の下に描かれた作品を紹介し、子どもたちや関係者に広く知ってもらうために作られた。本書が、木下紫水研究と竜丘で展開した大正期自由画教育の歴史の研究があらたに始まる火付け役になることが期待される。」とされています。会としては、今後一層の保存顕彰活動と研究に取り組んで参ります。

竜丘児童自由画保存顕彰委員長 下平 隆司

桐林秋祭り見事な煙火競演

「新時代」を担う子どもたちへ

「今年の花火は凄かったね」あちらこちらで歓声が上がりました。今年を象徴する様な秋晴れの暖かい夜だった十月十五日に桐林の秋祭り煙火が開催されました。コロナ禍で数年できてない神輿や夜店は今年も残念ながら自粛されましたが、多くの区民・企業の皆様の協賛を頂き例年以上の盛大な花火が打ち上げられました。特にクライマックスの音楽花火は映画ワンスの挿入歌「新時代」の競演に圧倒されました。打ち上がる所から扇状に真つすく伸びる花火は他ではあまり見られないものです。

観に来られた方全ての人が花火の素晴らしさを体験でき感動的でもありません。壮年会を中心に協力頂いた方々に感謝申し上げます。原俊洋会長から今年一番の思い出のページになった嬉しいと挨拶もありました。来年こそ神輿も夜店もできる事を願います。



秋晴れのなか 子どもたちの運動会 表情豊かに

竜丘小学校・竜丘保育園・時又保育園

はにわの野焼き

コロナ禍で開催出来なかった古墳まつりですが、十月二十三日に「はにわの野焼き」として、竜丘小学校六年生を対象に行われました。



朝霧が薄くかかる朝六時、長い柄のたいまつで子どもたちが点火。はにわは、五月の授業時間に子どもたちが作った物。形や模様を工夫したオンリーワンの一品で、毎年、育成委員会と古墳の会の方々が指導しています。子どもたちは、「空気を抜くようにこねて、割れないように気を付けて作った」「割れると悲しいので頑張った」「楽しく作る事が出来た」と、火の中の作品を見ながら話してくれました。

育成委員会では、火起こし体験、勾玉づくり体験を企画。「つかれた」との声を出しながら必死に火おこしをし、昔の生活の大変さを感じた様子。火おこし成功で、「火おこし名人認定証」を手渡され喜ぶ姿、自分で作った勾玉を首から下げ、嬉しそうなお子どもたちの姿がありました。

育成委員長 田畑さんは、「昨年出来なかったイベントを今年はWithコロナの中、小規模ながら最低限の継続が出来てほっとした。子どもたちには、多くの古墳があるこの地域の歴史などに興味を持ってもらえたら」と話しました。



あいさつ運動 各地区ごと実施



あいさつ標語

～クリアファイルが作成されました～

つれいしな おはようを わたしのこえで つたえたよ

令和4年度 最優秀作品

竜丘公民館 育成委員会

げんきにあいさつしよう

竜丘小学校のみなさんからのあいさつ標語を紹介します。

最優秀賞 うれいしな おはようを わたしのこえで つたえたよ 1年1組 伊坪 未陽

準優秀賞 「おはよーう」が、いちにちのげんきのほじまり 1年2組 松下 拓磨

準優秀賞 コロナでもつながる心 あいさつで 6年2組 岡村 はな

クラス代表

ぼくからめせんをあわせにっこりとおはよう 1年1組 藤本 律希	あいさつはじぶんがするとどってくる! 1年2組 小泉 さつき	あいさつは人を笑顔にできるまほうのことば 2年1組 奥田 結衣	げんきにあいさつともだちいっぱい 2年2組 三石 翼
あいさつでみんな笑顔の竜丘!! 3年1組 高橋 悠希	あいさつをみんなでするとニッコニコ 3年2組 久保田 萌白	あいさつは人にとってのたから物 4年1組 坂井 悠希	おはよう!あいさつ!あいさつすれば、みんながおききゅうをえがいで、うめつくそう! 4年2組 松村 啓奈
元気におはようちいきの人とつながる言葉 5年1組 下平 美来	おはよう!とげんきにあいさつにっこりがお 5年2組 三石 萌	あいさつで地域の人の笑顔みる 6年1組 塚田 ひかり	あいさつで心にとくやさしい気持ち 6年2組 下平 和花

竜丘公民館 育成委員会



久保田寛人さん知事賞

県美術展

第七十四回県美術展が開催され、木彫作品「ある権力者」が、最高賞の知事賞を受賞した。久保田さんに話を聞いた。

カマキリは、自分の縄張りに入られたカマキリを容赦なく殺す。昆虫の食物連鎖の頂点側にいるカマキリが、更に鎧を纏ってしまつたら…。それはそのまま人間社会に。「ある権力者」

略歴(竜丘関係のみ)

久保田寛人さん(80) 駄科在住

- ・元中学校教諭(技術・美術科/30代に緑ヶ丘中に7年間在職)
- ・平成19年に、故・木下睦興公民館館長の下、「丘の子遊YOU」に立ち上げから参加。

以来、15年間、様々な立場で子どもたちに関わる。



は、ロシアのウクライナ侵攻前の作品だが、奇しくも、プーチン大統領と重なる。芸術は、作者が作品に意志を込めて作り上げる。鎧を纏ったカマキリ、カマキリが上り詰めた階段、とりまく世界のひとつひとつに込められた作者の意志。見る人に自由に感じて受け取ってもらい、見た人の糧となることを願っている。

おくやみ

木下 和彦さん

十月二十三日、病氣療養中だった時又の木下和彦さんをご逝去されました。木下さんは竜丘公民館長、竜丘地域自治会長、ぶらさよる隊長、古墳の会長など様々な役を歴任されました。

学校の登下校に合わせ「ぶらぶらさよるきよろしながら散歩して子どもたちを見守ろう」とぶらさよる隊を結成するなど、様々なアイデアで竜丘地区の為に尽力いただきました。

ここにご生前の功績に敬意を表し慎んでお悔やみ申し上げます。



古墳の会



自由画展



時又保育園



竜丘保育園



開催セレモニー



大人の学校



燦丘書道教室



長野県竹宵の会



竜丘油絵クラブ



野楽路そばのふるまい



自由学校 竹とんぼ

With コロナへ、一歩

11月5日6日 2年振りに

文化祭開催



花の友



財産区木っ端工作

来年はコロナが収束に向かい、平常通り文化祭が開催できることを願うばかりです。これからも文化祭をはじめ、文化事業を通じて竜丘地区を盛り上げていくため、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

す。来年はコロナが収束に向かい、平常通り文化祭が開催できることを願うばかりです。これからも文化祭をはじめ、文化事業を通じて竜丘地区を盛り上げていくため、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

今年度は竜丘小学校開校百五十周年記念事業と合わせて、竜丘地区文化祭を開催しました。一昨年度同様に、展示の観覧を一方通行にするなど、新型コロナウイルス対策を実施し臨みましました。また、コロナの影響により活動が制限される中で、飲食の提供も行いましたが、コロナが感染拡大傾向にあり開催が心配されましたが、文化祭実行委員の方をはじめ、作品を出展していただいた方、スタッフとしてお手伝いいただいた方、ご来場いただいた方、ご来場いただいた方、など文化祭に携わっていただいた皆さまのご協力により文化祭を無事終えることが出来ました。ありがとうございました。ご来場いただいた方には、竜丘の文化事業の成果をご覧いただけただけではないかと思えます。



かわらんぺ



上川路公民館



桐林公民館



駄科公民館



時又公民館



長野原公民館



上川路写真クラブ



駄科水墨画教室



明星学園



環境委員会



憲法を学ぶ会



木造校舎のCG再現



ドローンクラブ



リリーレフア



消防団第七分団



福祉健康委員会



打って、捕って、頑張って！

コロナに負けず来年こそ運動会を実施できるように、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

新種目体験会を行いました。新種目のうち、「打って、捕って、頑張って！」という、ラケットでボールを打ち、メガホンでキャッチするという競技を実施。中高生、親子連れの皆さまなどたくさんの方に楽しんでいただきました。「この競技なら運動会に出てほしい！」という嬉しい声を頂戴することもできました。

体育委員会では、コロナ禍でもできる新しい競技を、令和二年度から何回も検討を重ね、皆で考えてきました。台風、コロナ禍などにより四年連続で運動会が中止となる中、このまま考えた競技がお蔵入りじゃもったいない、少しでも新しい競技の楽しさを知って、そして、運動会参加へのハードルを下げてほしいという思いから、運動会の新種目体験会を行いました。

新種目体験会

体育委員長 宮下 賢信

感染をを広げないため、仕方がない事ではあるけれど、開催するために会議や準備に多くの時間や労力を費やしてきた人や一生懸命練習をしてきた人の事を思うと本当に切なく、悔しい思いをしたのだと思う。行動制限が緩和されてきた今、慎重に考えなければならぬ事ではある一方で、何でもコロナだからと簡単にやめてしまうのはどうなのだろうか。人と人とのコミュニケーションまでとりにくくなってしまうような気がしてしまふ。

今までは、第何波というように感染者が増えてきてしまえば、多数の人が集まるスポーツの大会やコンクール、運動会などの催しは開催を縮小、制限したり中止にせざるを得ない事が多かった。

新型コロナウイルスが再び猛威をふるっている。コロナと言われるようになってから何年度目の年末年始になるのだろうか。最初のどんなウイルスかわからなかった頃に比べれば、ワクチン接種が受けられるようになったり、換気をする、手洗いやうがい、密を避けるなど様々な対策が講じられるようになり、やみくもに隔離されたり行動制限がかけられたりする事がなくなってきたように思う。インフルエンザ治療薬のタミフルやリレンザのようなコロナウイルス治療薬が一般的になる日も近いのかもしれない。

新型コロナウイルスが再び猛威をふるっている。